

大阪恋物語

大阪恋物語 安物の恋か知れんけど
うちは死ぬまで忘れんからね
誰よりも 素敵な人

金色に 染まった街が 悲しいほどきれいやね
二人見降ろす人の河 どこへ流れるんやろ
うまいこと 言われへんけれど 夢追いかけるあんたを
待てないうちのせいやから 自分のこと責めたらあかんよ

大阪恋物語 安物の恋かも知れんけど
うちは 死ぬまで忘れんからね
誰よりも 素敵な人
ずっとどこかで 見つめてるから
必ず 星を掴んでね

もう5年 早く逢えたら 夢中でついて行けたよ
多分女は男より ずるい生き物やね
言い出した 別れやけれど 何故か涙止まらへん
輝いた日の思い出を いつでも胸に抱いて生きるよ

大阪恋物語 今幕を閉じてゆくけど
あんた この世でただ一人だけ
魂で 愛せた人
生まれ変わって また逢えたなら
今度は 離れないからね

大阪恋物語 安物の恋かも知れんけど
うちは死ぬまで忘れんからね
誰よりも 素敵な人
ずっとどこかで 見つめてるから
必ず 星を掴んでね
必ず 星を掴んでね

M

いつも一緒にいたかった となりで笑ってたかった

季節はまた変わるのに 心だけ立ち止まったまま

あなたのいない右側に 少しは慣れたつもりでいたのに

どうしてこんなに涙が出るの

もう叶わない想いなら あなたを忘れる勇気だけ欲しいよ

You are only in my fantasy

今でも覚えている あなたの言葉 肩の向こうに見えた景色さえも

So once again

Leavin' for the place without your love

星が森へ帰るように 自然に消えて

ちいさな仕草も はしゃいだあの時の私も

いつも一緒にいたかった となりで笑ってたかった

季節はまた変わるのに 心だけ立ち止まったまま

出会った秋の写真には はにかんだ笑顔ただ嬉しくて

こんな日がくると思わなかった

瞬きもしないで あなたを胸にやきつけてた 恋しくて

You are only in my fantasy

あなたの声 聞きたくて 消せないアドレス M のページを指でた

どってるだけ

So once again

Leavin' for the place without your love

夢見て目が覚めた 黒いジャケット 後ろ姿が 誰かと見えなく

なっていく

So once again

You are only in my fantasy

星が森へ帰るように 自然に消えて ちいさな仕草も

いつまでも あなたしか見えない 私も

喝采 - ちあきなおみ

いつものように幕が開き
恋の歌うたうわたしに
届いた報らせは 黒いふちどりがありました

あれは三年前 止めるアナタ駅に残し
動き始めた汽車に ひとり飛び乗った

ひなびた町の昼下がり
教会のまえにたたずみ
喪服のわたしは 祈る言葉さえ 失くしてた

つたがからまる白い壁
細いかけ長く落として
ひとりのわたしは こぼす涙さえ忘れてた

暗い待合室 話すひともないわたしの
耳に私のうたが 通りすぎてゆく

いつものように幕が開く
降りそそぐライトのその中
それでもわたしは 今日恋の歌 うたってる

やっぱ好きやねん

もう一度やり直そうて

平気な顔をして いまさら

さしずめ降られたんやね

あんた わがままな人やから

嘘のひとつもつかないで

出てったくせに

過ぎた事やと笑ってる

あんたを 憎めりゃいいのにね

やっぱ好きやねん やっぱ好きやねん

悔やしいけど あかん

あんた よう忘れられん

やっぱ好きやねん やっぱ好きやねん

きつく抱いてよ 今夜は

見慣れた街の灯が

何故だか鮮やかに 映るわ

あんたの胸で寝てると

不思議 あの頃と同じやね

一度終わった恋やもん

壊れても もともと

つくづく めでたい女やと

自分で自分を笑うけど

やっぱ好きやねん やっぱ好きやねん

あんたやなきや あかん

うちは女でいられん

やっぱ好きやねん やっぱ好きやねん

もう離さん 言うてよ

やっぱ好きやねん やっぱ好きやねん

悔しいけど あかん

あんた よう忘れられん

やっぱ好きやねん やっぱ好きやねん

きつく抱いてよ 今夜は